

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 学校のプールについて。 【質問趣旨】 現在本市においての小中学校のプール施設について全体的に老朽化が顕著になってきており予防保全や修繕が今後さらに必要になってくると考えられ、10～20年後には建替えも視野に入れなければならない、この先の本市の財政負担にもつながっていくと考えられる。またプールの授業や準備を行う教職員に関しても、プールの授業は施設や消毒などの専門的な管理や、他の授業に比べ安全面に配慮しなくてはならず、更には事故防止や衛生面にも意識しての施設の劣化箇所への注意が必要になってくる。近年教職員の“働き方改革”が叫ばれる中、負担が大きな業務であるといえる。</p>	<p>(1) 学校のプール授業の現状と課題について。</p>	<p>① 本市においての学校のプールの授業は年間小学校で10時間、中学校で11時間であるがこの時間数の根拠と、1時間の授業のなかでの着替えや移動等の時間を除いた場合の実質の水泳時間はどのくらいか伺う。</p> <p>② ①の時間数を履行していく中で、学習指導要領が示している各学年の「水泳の内容」について基準を満たしている児童生徒はどのくらいであるか。また児童生徒全員に基準を満たすような指導を行っていくと考えた場合の授業時間数としての評価を伺う。</p> <p>③ 荒天や気温の変化が著しくあった場合、屋外プールゆえにプール授業を中止にせざる得ない時の対応と判断はどの基準で下しているのか伺う。</p> <p>④ 近年は中学校の体育カリキュラムで武道やダンスを必須化していくなど体育授業の内容も時代の変化による移り変わりがみられるが、水泳の授業については移り変わっているのか。教職員の指導方法に対しての課題はあるのか。</p> <p>⑤ 水質管理、施設の点検、不注意が重大事故に繋がる可能性があるため一層の安全に対する配慮等、プールの授業に対する教職員の負担はかなり多いと考える。近年プールの授業を民間委託に切り替える自治体も増えてきており、移動等の課題もあるがスイミングスクールのインストラクターが水泳の指導にあたることで児童生徒の泳力の向上も図れ、教職員の負担もかなり軽減されると考えるが、見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>近年では“学校のプール施設の廃止”を断行している自治体も年々増えてきており、本市においても学校のプール施設や授業の在り方の今後を見直すべきではと考える。そこで本市の学校のプールについて質問し今後の在り方の一助としていく。</p>	<p>(2) 学校のプール施設について</p>	<p>① 学校プールの維持管理費（水道代、薬品代、各種検査、清掃費、ろ過材取替え、保守点検、諸修繕等）は年間1校当たり、小学校では約120万円で中学校では約125万円であり、これは教育の観点から考えると適正な経費と考える。しかし今後改修に必要な費用が1校当たり約2000万円と試算されており、複数同時に施設改修が必要になる場合もあり、本市の財政に少なからず影響を及ぼすと考える。この改修に必要な費用の積算根拠と改修計画を伺う。</p> <p>② 本市の小学校のプールのうち殆どが築40年近く経過しており老朽化によりプール層の塗装のはがれや樹脂劣化に伴うささくれ等によるケガが数件あると聞く。また児童に聞きとりをしていく中で高温時のプールサイドは足の裏がやけどしそうなくらい熱いという意見もあり特に小学校低学年児には配慮が必要なのではと考える。こういった施設使用時に対する安全対策において、学校現場と行政の連携はできているのか。また予防策はどんなものがあるのか伺う。</p> <p>③ 経年劣化を考慮した場合、計画的に改修を行わない場合は劣化も早まり、建て替えの時期も早まってくると考える。建て替えの費用は1校当たり約2億円でありこれは本市の財政に対し大きな負担となってくる。年間の稼働日数や財政負担の面を考えた場合、1校に1施設ずつあるプール施設のあり方そのものを慎重に考えていく必要があると考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 今後の本市の各小中学校のプール施設のあり方について	<p>④ 屋外プールは季節や天候によって稼動時期や時間が限られてくる。さらにこれからの時代は気温上昇による熱中症対策にも気をつけなければならず、この機運は年々高まっていくものと予想する。しかしながら今後屋内プールを各校に建設するのは財政の観点からすると現実的ではない。(1) ④ではソフトの面からの民間委託を提言したが、施設や財政というハード面から見ても水泳の授業を民間のプールで行っていくのは効果の検証の価値があると思う。</p> <p>① 学校のプール施設廃止や授業の民間委託はもはやどこかの自治体の話ではなく本市においても検討をしていくべき事案であると思う。財政的な課題や授業のあり方に対し教育現場と協議検討していくなかで中長期的な計画を立案試行し、本市の将来を見据えた明確かつ具体的な「学校のプール授業及び施設に対するロードマップ」を作成していく必要があると思う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員		
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)	
<p>2 日本遺産認定をうけての2年間の成果と今後は</p> <p>【質問趣旨】 平成29年4月、六古窯は「きっと恋する六古窯」として日本遺産の認定を受けた。六古窯の一つである本市もリアル型としての認定を受けたことでシティプロモーションにさらに鋭意取り組んでいくとしている。認定による効果としては認知度が高まるとともに地域のブランド化や市民のアイデンティティの再確認、及び国内外へ魅力発信においての文化庁からのお墨付きがあったなどがある。認定から2年を経た現在の状況、今までの成果、今後の課題を質問し今後本市はこの日本遺産認定をどう活かしていくかを提言する。</p>	<p>(1) 認定を受けたこの2年間の取り組みについて</p> <p>(2) シティプロモーションをすすめて行く為に日本遺産をどう活かしていくのか</p>	<p>① 文化庁が示す日本遺産事業の方向性の中にストーリーのパッケージ化というものがある。本市のやきものに対してのストーリーは「資源の採掘から陶磁器製品の販売となる産業的なもの」といったソフトの面と「歴史的な魅力あふれる町並みを回遊できる」といったハードの面を政策的につなげていくとしている。この2年間それはどのような施策でなされ、成果はどうであったのか伺う。</p> <p>② 日本遺産は認定後の3年間は補助金など国からのバックアップがあるが、4年目からは「独り立ち」をすることを求められている。2020年までに国からのバックアップを最大かつ有効に利用することは各施策にプラスになると考える。この2年間は国と連携をどう図ってきたか。あと1年、さらに国との係わりのなかで推進していく施策事業はどのようなものがあり成果としての見込みはどのようなものかを伺う。</p> <p>③ 日本遺産の認定を受けた六古窯の6つの市町の首長が「六古窯日本遺産活用協議会」を設立したが、この協議会の具体的な取り組みとその成果は何か伺う。</p> <p>① 認定後の議会答弁のなかで「瀬戸市のプロモーションを進めていく中で日本遺産認定のこのチャンスを大いに活かし職員一人一人が担当部署を超えて、組織横断的に横串連携をすることにより日本遺産推進のセールスパーソンとして役割を担っていけるよう努めていく。」としているが具体的にどのような連携体制で横断的に施策を遂行したか伺う。</p>	

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 日本遺産認定を市民協働に活かし次世代につなげていく為には	<p>② ①でお答えいただいた体制においての全庁的な取り組みのなか、2年間の成果はどのようなものであったか、そしてその中で日本遺産認定はどう作用したのか伺う。</p> <p>① 日本遺産認定推進事業を展開していく中で市民や民間団体の方々と協働で施策を行っていくことは地域のブランド化や市民の誇りの醸成を形作っていくためには必須であると考えます。そのためには行政と民間との役割を明確にしながらブランド化を図っていくにあたっての“想い”を共有し事業を進めていくべきである。日本遺産における瀬戸市のストーリー作りを官民一体となって行っていく必要性についての見解を伺う。</p> <p>② 日本遺産「きっと恋する六古窯」を価値あるものとして国のお墨付きを受けたことは本市における強みと財産である。これを活かし事業を推進していく場合、どの世代をターゲットにしていくかは今後の方向性に係わってくると考え、それを示したうえで事業評価の成果指標を設定していかないと評価と検証が不明確になり事業のPDCAサイクルを回していくうえでの支障となっていくと考える。ターゲットの世代を選定していくのは難しいが次世代に瀬戸市の価値を繋いでいく為にはまずは小学生から大学生までの青少年世代をターゲットにしていくことで意義のある日本遺産推進事業になっていくと考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。